古戦場称呼見て貴面を訪で常陸の国に八磨嶋の津
洲の明神伏拝み水戸に入りては佐竹の氏領を窺
うて千の方の明神礼拝して棚倉之春を過りて二
本松に出でつゝ出羽の國に入りける此時に一叶附
添奉りて大意公地八沼津佐竹の金砂の軍終りて義経
出羽のうちにて長元和の初まで無事なり水戸
なりて所々離れ事なり武の師匠にぞなりける三世
駿河守家親にて最上の運て事なり講座八次第
に退去の時を初て東海林年八佐藤兵衛尉と
者を拵へて面にて丸清宗別当職を渡し其身
八武州江戸にて名を替へ老を包みて清宗迄
り居て後世菩提をぞ願ひける二世駿河守時代
羽黒山にて修験文性院文位清下として遺跡相続
一寺りしハ叶子弟丸の事なり

一叶勧兵主起兵事

然るに一叶天性勇鋭なるのみならず達文道言不
理を通ぜざるなり無ければ仏父義家公に宜く思